



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場会社名 株式会社システムリサーチ 上場取引所 東  
 コード番号 3771 URL http://www.sr-net.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)布目 秀樹  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員企画広報室 (氏名)小池 貴司 (TEL) (052)-413-6820  
 ゼネラルマネージャー  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家およびアナリスト向け)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,712	10.9	221	75.6	221	79.7	120	50.8
26年3月期第2四半期	4,247	17.8	126	0.6	122	5.6	79	15.5

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 121百万円 (53.5%) 26年3月期第2四半期 78百万円 (14.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	57.68	—
26年3月期第2四半期	38.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	6,127	2,904	47.3
26年3月期	5,900	2,679	45.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,902百万円 26年3月期 2,676百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,711	6.6	732	28.2	727	26.2	398	6.4	190.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	2,090,000株	26年3月期	2,090,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	340株	26年3月期	314株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	2,089,679株	26年3月期2Q	2,089,770株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、平成26年11月19日(水)に投資家およびアナリスト向けの説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	
(1) 生産実績	11
(2) 外注実績	11
(3) 仕入実績	11
(4) 受注実績	12
(5) 販売実績	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀が発表した平成26年9月の短観（企業短期経済観測調査）によれば、大企業製造業における業況判断指数（DI）はプラス13ポイントとなり、6月の前回調査から1ポイント上昇し半年ぶりに改善したものの、3か月後の先行き指数は横ばいどまりとなりました。また、自動車は、円安を背景に、輸出が堅調に推移していることもあり、プラス20ポイント（6月の前回調査から7ポイント上昇）となり大幅な改善となりました。しかし、3か月後の先行き指数は5ポイント下落の15ポイントとなっており、引き続き先行きがやや不透明な状況を反映しております。

一方、当社グループが属する情報サービス業界におきましては、経済産業省より発表された「特定サービス産業動態統計」によると、平成26年8月の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比0.6%増と13か月連続の増加となりました。主力の「受注ソフトウェア」は、同2.8%増加、「ソフトウェアプロダクツ」は同16.7%減少、「システム等管理運営受託」は同4.5%増加となりました。

このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、円安・株高などを背景に、自動車関連製造業や機械製造業など当社主要顧客からのIT投資需要が堅調に推移し、企業の基幹システム構築を中心とするSIサービス業務の売上高は、2,582,487千円（前年同期比14.1%増）となりました。ソフトウェア開発業務においては、既存顧客からの継続受注を安定的に確保でき堅調に推移したことから、売上高は、1,750,104千円（前年同期比10.7%増）となりました。ソフトウェアプロダクト業務におきましては、Windows XP（マイクロソフト社のOS（基本ソフト））サポート終了と、消費税改正による特需が終了したことにより、売上高は、293,727千円（前年同期比5.5%減）、商品販売では、パソコンやネットワーク機器などで82,173千円（前年同期比8.5%減）、その他のWEBサイトの運営などでは3,580千円（前年同期比28.1%増）となりました。

利益面におきましては、顧客のIT投資が堅調に推移していることなどから、SE稼働率が向上しております。また、経費削減策、プロジェクト原価管理の徹底などの取り組みを継続し利益確保に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高4,712,073千円（前年同期比10.9%増）、営業利益221,896千円（前年同期比75.6%増）、経常利益221,060千円（前年同期比79.7%増）、四半期純利益120,549千円（前年同期比50.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債および純資産の状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金、仕掛品および退職給付に係る資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ227,083千円増加し、6,127,636千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、退職給付に係る負債が減少したものの、短期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2,649千円増加し、3,223,577千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当金を行った一方で退職給付に関する会計基準および同適用指針の適用に伴う期首利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ224,434千円増加し、2,904,058千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ111,443千円増加し、1,868,134千円（前年同期末は1,589,342千円）となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、155,651千円（前年同期は220,282千円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益212,516千円、減価償却費74,093千円、売上債権の減少額268,594千円、仕入債務の増加額73,356千円などの増加と、たな卸資産の増加額269,999千円や法人税等の支払額146,277千円などの減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、42,065千円（前年同期は56,536千円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出10,717千円および無形固定資産の取得による支出31,357千円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、2,141千円（前年同期は90,247千円の増加）となりました。これは主に、長・短期借入れによる収入930,000千円、長・短期借入金返済による支出827,609千円や配当金の支払額104,484千円などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の業績予想につきましては、最近の業績動向や平成26年10月1日付けで連結子会社であるイリイ株式会社を吸収合併したことから業績予想の見直しを行った結果、平成26年5月9日に公表した業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成26年10月24日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計上すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、割引率決定の基礎となる債権の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が171,008千円減少し、退職給付に係る資産が150,145千円及び利益剰余金が207,786千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ9,090千円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,791,886	1,903,330
受取手形及び売掛金	2,101,865	1,837,354
商品及び製品	6,560	2,192
仕掛品	39,492	312,072
貯蔵品	4,728	6,516
その他	237,437	220,408
貸倒引当金	△209	△182
流動資産合計	4,181,761	4,281,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	581,762	567,167
土地	604,806	604,806
その他(純額)	20,509	21,575
有形固定資産合計	1,207,078	1,193,549
無形固定資産		
ソフトウェア	251,834	231,172
その他	8,623	8,529
無形固定資産合計	260,458	239,702
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	178,034
その他	251,254	234,656
投資その他の資産合計	251,254	412,691
固定資産合計	1,718,791	1,845,943
資産合計	5,900,553	6,127,636

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	296,172	370,892
短期借入金	40,000	192,000
1年内返済予定の長期借入金	839,335	819,859
未払法人税等	158,645	90,663
賞与引当金	422,023	400,076
その他	559,193	621,122
流動負債合計	2,315,371	2,494,613
固定負債		
長期借入金	706,057	675,924
退職給付に係る負債	185,535	—
その他	13,965	53,040
固定負債合計	905,557	728,964
負債合計	3,220,928	3,223,577
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	550,150	550,150
資本剰余金	517,550	517,550
利益剰余金	1,606,442	1,830,294
自己株式	△362	△410
株主資本合計	2,673,780	2,897,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,805	4,717
退職給付に係る調整累計額	△661	△75
その他の包括利益累計額合計	3,144	4,642
少数株主持分	2,700	1,832
純資産合計	2,679,624	2,904,058
負債純資産合計	5,900,553	6,127,636



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,247,096	4,712,073
売上原価	3,462,986	3,795,143
売上総利益	784,110	916,929
販売費及び一般管理費	657,784	695,032
営業利益	126,325	221,896
営業外収益		
受取利息	22	24
受取配当金	211	243
受取保険金	—	2,000
助成金収入	3,410	1,287
その他	553	2,525
営業外収益合計	4,197	6,080
営業外費用		
支払利息	7,403	6,883
その他	131	33
営業外費用合計	7,534	6,916
経常利益	122,989	221,060
特別損失		
固定資産除却損	10	172
事務所移転費用	—	8,371
特別損失合計	10	8,543
税金等調整前四半期純利益	122,978	212,516
法人税等	43,829	92,834
少数株主損益調整前四半期純利益	79,149	119,682
少数株主損失(△)	△747	△867
四半期純利益	79,896	120,549

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	79,149	119,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△227	911
退職給付に係る調整額	—	586
その他の包括利益合計	△227	1,498
四半期包括利益	78,921	121,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,668	122,047
少数株主に係る四半期包括利益	△747	△867

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	122,978	212,516
減価償却費	72,117	74,093
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,355	△21,947
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△3,894	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,712	—
退職給付に係る資産負債の増減額	—	△41,509
売上債権の増減額(△は増加)	△134,087	268,594
たな卸資産の増減額(△は増加)	△111,452	△269,999
仕入債務の増減額(△は減少)	37,456	73,356
その他	△103,740	13,136
小計	△145,266	308,241
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△67,771	△146,277
その他	△7,244	△6,312
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△220,282</b>	<b>155,651</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△19,157	△10,717
無形固定資産の取得による支出	△37,378	△31,357
その他	△1	8
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△56,536</b>	<b>△42,065</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	480,000	480,000
短期借入金の返済による支出	△288,000	△328,000
長期借入れによる収入	450,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△447,216	△499,609
自己株式の取得による支出	△46	△48
配当金の支払額	△104,489	△104,484
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>90,247</b>	<b>△2,141</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△186,571</b>	<b>111,443</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,775,914	1,756,691
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,589,342</b>	<b>1,868,134</b>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
	生産高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	2,907,346	121.6
ソフトウェア開発業務	1,750,104	110.7
ソフトウェアプロダクト業務	287,974	91.6
その他	3,670	131.3
合計	4,949,095	115.4

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 外注実績

当第2四半期連結累計期間における外注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
	外注高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	1,171,988	120.6
ソフトウェア開発業務	486,022	118.2
ソフトウェアプロダクト業務	22,744	103.3
その他	1,645	76.8
合計	1,682,401	119.6

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
	仕入高(千円)	前年同期比(%)
商品販売	70,827	107.3

- (注) 1 金額は、仕入価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (4) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	3,369,740	130.3	1,345,778	138.9
ソフトウェア開発業務	1,983,281	119.2	502,687	137.8
ソフトウェアプロダクト業務	317,462	102.8	42,245	75.9
商品販売	89,680	95.1	10,233	96.9
合計	5,760,164	123.8	1,900,944	135.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (5) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	2,582,487	114.1
ソフトウェア開発業務	1,750,104	110.7
ソフトウェアプロダクト業務	293,727	94.5
商品販売	82,173	91.5
その他	3,580	128.1
合計	4,712,073	110.9

(注) 1 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
㈱トヨタコミュニケーションシステム	478,082	11.2	608,677	12.9
㈱富士通システムズ・ウエスト	444,069	10.4	—	—

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 当第2四半期連結累計期間の㈱富士通システムズ・ウエストについては、当該割合が100分の10未満のため記載を省略しております。